

## 特選

# ぷにぷにほっぺ

呉市立阿賀小学校

1年 じつしたももか

「ももちゃんのぷにぷにほっぺ，だいすきよ。」とおかあさまはいつも言って，ぎゅうっとだっこをしてくれます。

でもわたしは，このぷにぷにのほっぺがきらいです。どうしてかというと，おとうさんにも，おかあさまにも，おねえちゃんにもついてないからです。だから，ぷにぷにしたほっぺをつまんでうごかして，これがなくなったらおねえちゃんみたいにバレエがじょうずになれるのに，おねえちゃんみたいにせがたかくなれるのに。と，かがみのまえでぷにぷにほっぺのうんどうをしています。

だけとおねえちゃんは，

「ももちゃんのぷにぷにほっぺ，つるつるでかわいくてだいすきよ。」

といてくれました。

わたしがおもっているより，このぷにぷにほっぺはにんきがあるみたいです。

おかあさまは，だっこをしてくれて，ほっぺとほっぺをすりすりするとき，いつもにこにこしています。そうしていつも

「だいすきよ。」

といてくれるので，さんねんせいになるぐらいまでぷにぷにほっぺでいてもいいかな。というきもちになってきました。

だから，かがみのまえでぷにぷにほっぺのうんどうをするのは，さんねんせいになるまでおやすみします。

そして，このさくぶんをかいたら，だっこをしてもらおうとおもいます。